

## 令和5年度当初予算 危機管理監室主要施策の概要

(令和4年度第1次3月補正予算含む)

### ◎予算編成のポイント

- ・ 激甚化・頻発化する自然災害に備え、災害対応力の基盤強化と自助・共助による地域防災力の向上を図るため、防災士の育成・質の向上に取り組むとともに、地震被害想定の見直しや防災DXの推進、消防学校の機能強化、消防団の充実・強化のほか、火山防災対策の推進などに取り組む。
- ・ 原子力防災・安全対策については、原子力防災計画等に基づき、原子力防災対策の強化を図るとともに、志賀原子力発電所の安全対策の徹底を図る。

### ◎重点主要施策の概要

- 自助・共助による地域防災力の向上を図るため、自主防災組織のリーダーとなる防災士の育成について、大学等とも連携し取り組むほか、町会長等を対象とした地域防災トップリーダー研修を実施するとともに、企業等の自発的な防災活動の促進を通じた県民の防災意識の啓発に取り組む。
- 最新の知見や社会情勢の変化等を踏まえ、地震被害想定の見直しに着手する。
- 被災者の速やかな生活再建を図るため、市町の被災者支援業務を支援するシステムを整備する。
- 防災DXの推進により、情報収集・提供体制の基盤強化を図るとともに、白山火山防災対策については、民間アプリを活用し迅速な登山者情報の把握に努める。
- 消防学校を核とした総合的な防災拠点の整備指針となる基本構想の策定に着手する。
- 住民の安全・安心を守る地域防災の要である消防団の充実・強化を図る。
- 原子力防災体制の整備を図るため、原子力防災対策を強化するほか、原子力環境安全管理協議会の運営などを通じた原子力安全対策の徹底を図る。

令和5年度当初予算 危機管理監室主要施策の概要  
(令和4年度第1次3月補正予算含む)

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ 安全・安心かつ持続可能な地域づくり (1) 災害に負けない強靱な県土づくり ・ 防災総合訓練費	7,665	防災総合訓練の実施(能登町内) 大規模災害を想定した防災総合訓練と中部ブロックの 緊急消防援助隊の訓練を併せて実施
・ 災害危機管理アドバイザー設置費	670	災害発生時の対応や平素の危機管理への専門的助言など
・ 防災士等育成強化・資質向上推進事業費	43,125	自主防災組織の充実・強化 防災士の育成 36,000 千円 防災士活動のスキルアップ研修の実施 5,855 千円 防災士表彰の実施 270 千円 ◎地域防災トップリーダー研修の実施 1,000 千円
・ ◎大学等と連携した防災人材育成推進事業費	2,000	大学等と連携した学生防災士の育成、防災活動の輪を広 げる学生防災フォーラムの設立
・ ◎多様な主体との協働による防災自助力強化事業費	1,000	防災ロゴマークを活用した企業等の防災活動促進を通じ た県民の防災意識の啓発
・ ◎地震被害想定調査費	120,000	債務を含め 最新の知見や社会情勢の変化等を踏まえた見直し
・ ◎被災者支援システム整備費	80,000	災害時における市町の被災者支援業務を支援
・ ◎防災DX推進費	17,039	SNSを活用した情報収集や石川県防災ポータルの見直 しなど
・ 白山火山防災対策費	5,000	◎民間アプリを活用したスマートフォンによる登山届の 提出促進、火山防災訓練の実施など
・ 総合防災情報システム等管理運営費	112,805	総合防災情報システム管理 48,904 千円 防災行政無線等管理 63,901 千円
・ ◎消防学校基本構想策定費	15,000	消防学校を核とした総合的な防災拠点の整備指針となる 基本構想の策定
・ ◎全国女性消防団員活性化石川大会開催費	5,000	活動事例発表や記念講演などを通じた女性消防団活動の より一層の活性化に向けた大会の開催
・ いしかわの消防団充実強化・支援費	15,435	装備の充実 5,000 千円 救助資機材・安全装備品等の整備に対する助成 団員の確保・活性化 10,435 千円 一斉広報キャンペーンの展開等
・ 消防防災施設等整備費	2,000	小型動力ポンプ・救急資機材整備等に対する助成
・ 航空消防防災体制運営費	252,304	消防防災ヘリコプター「はくさん」の運航 運航費等 232,304 千円 点検整備費 20,000 千円
・ 原子力防災対策費	262,399	防災対策の強化 防災資機材の整備、原子力防災訓練の実施、 緊急時連絡網管理等
・ 原子力安全対策費	383,744	環境放射線監視機器の更新等 56,163 千円 環境放射線監視業務 322,581 千円 原子力環境安全管理協議会の運営 5,000 千円

危機管理監室